



アルファロメオ江戸川
ALFA ROMEO EDOGAWA

Racing on

- 16th Stage -

意外と知られていない タイミングベルト交換の 重要性とその効果



アルファロメオ江戸川
サービスフロント

酒井 英朗

お客様とクルマを整備するメカニックへの橋渡しを担当するサービスフロントとして活躍。元来メカニックでもあったため、チューニングやメンテナンスなどへのアドバイスは的確。

花粉症の方は一年でもっとも憂鬱な季節、いかがお過ごしですか？ちなみに私、酒井も全開で花粉にやられています。。。

予防整備が重要な タイミングベルト交換

ドライブインギンシーズンを迎えた今日この頃、今回はタイミングベルトについてご紹介いたします。タイミングベルトと聞いて、耳にした事が無い方は少ないのではないですか？タイミングベルトとは、エンジン内部で動いているピストンとバルブが動くタイミングを合わせているのがタイミングベルトです。



このタイミングがズレてしまうとピストンとバルブが衝突し、エンジンブローとなります。と、簡単に書いてしまいましたが、たかがベルトではあります。車は心臓エンジン動かす上で非常に大切な部品です。そんな大切な部品ですが、タイミングベルト及びベルトを回すベアリング(滑車類)は残念ながら消耗品です。車種にもよりますが、素材はベルトはゴム、ベアリングはプラスチック

クや金属で出来ています。これらの部品はエンジンがかかっている間は常に動き、ストレスが掛っています。タイミングベルトのゴムは10万キロ保つとメーカーは言っていますが、その他のベアリングは年劣化によりタイミングベルトの山がすり減り、ベルトがずれてしまいバルブとピストンが衝突。なんて事になってしまいます。他の部品はタメになつてからの交換でもなんとかなりましたが、タイミングベルトはタメに回りの部品に関しては、ダメになつてからの交換ですと事前に交換するよりも多大な費用が掛つてしまいます。そうならない為の予防整備がタイミングベルト交換なんです。

では交換時期はいつなんでしょう？これは熟練したメカニックの経験から導き出されます。弊社では年数は5年〜7年、距離は4万キロ〜5万キロの間での交換をお勧めしています。もちろんこれ以上にも回体も存在はしますが、しかし上記した通りタイミングベルトの交換は予防整備ですので、何かが起きる前に行う事をお勧め致しております。実際の交換作業はベルトを外して元の位置に組めばオケ！といったタイミングでブルド。と言ってもエンジンがブローしてはいなくとも適正の位置から必ず微妙にずれが生じます。その微妙なずれがあるエンジンには本来の性能を発揮できません。

特殊工具での交換作業で 気持ちよく回るエンジンに

エンジンの性能を100%発揮出来る位置でタイミングベルトを組む為には、この様な特殊ツ

ールを使ってタイミングベルトを組んで行きます。この特殊ツールが無くても交換する事は可能ですが、微妙なずれを取り除く事は熟練したメカニックでも困難です。特殊ツールを使用ししっかりとタイミングの合ったエンジンに低回転から高回転までストレスなく回り、新品のエンジンの様には、お客様を楽しませてくれるはずです。



新車もしくは前回交換してから5年〜7年、4万キロ〜5万キロ近く走られている方はお気軽に弊社スタッフにご相談ください。お車の状態を手チェックし必要なお見積りをさせて頂きます。

今回はタイミングベルトの交換時に良く聞く、ウォーターポンプに付いて書いて行こうと思っております。



フィアット江戸川・アルファロメオ江戸川



東京都江戸川区一之江2-7-9 TEL 03-3656-8989

営業時間 10:00~19:00 定休日 毎週月曜 <http://www.alfa4u.jp>